

茨城県納税貯蓄連合会・潮来税務署管内租税教育推進協議会

平成二十六年

中学生・高校生の「税についての作文」優秀作品集

編集発行 潮来税務署・行方市税務課

行方市長賞

税の役割

行方市立麻生中学校

三年 黒田 彩霞

私は、最近のニュースで税金が5%から8%に上げられたことを聞きました。今は、急に上げなければならぬことが分かりませんでした。そこで、インターネットで調べてみると、税金を上げなければならぬ理由が分かりました。

まず、国が借金をしている額の多さにビックリしました。その額は、一人あたり、八百万円だそうです。日本の人口は一億二千万人です。そのように考えると、ものすごい額の借金をしていることが分かりました。

次に、少子高齢社会のため働く人が減り、税収がなくなってしまうので、税金を上げなくてはならない理由も分かりました。

私たちの身の周りでも税金が多く使われている場所をいくつか知っています。

一つ目は、「マル福」という制度です。「マル福」は、新しく、中学三年生までが対象となり、医療費を助成する制度です。二回目までは、たとえ、一万円かかったとしても、個人の負担は、六百円ですみます。三回目からは、個人では払わず、全て、市の税金で払われているそうです。私は、先日この制度を利用しました。腰を痛めて、通院している時に、初めて、「マル福」という制度があることを知りました。それまで、そのような制度があることは知りませんでした。私は、

このような制度があり、とてもビックリしました。税金は、病院の時以外にも使われている場所を知りました。家の近くにある使えなくなってしまう体育館や、がたぼこになってしまった道路をなおしたりしていると、ところをみました。このようなことをできるのも、市民のかたがたから集めた税金でできているので、税金はとても大切だと思いました。

私は、この税についての作文を書きましたが、いろいろなところで、税が大切に使われていることが分かりました。「マル福」を使用するのも、体育館・道路をなおすのにも、税金が必ず必要となってきます。だから、そのようなところに税金を使うためには、多くの税金を集めなければなりません。しかし、今は、少子高齢社会なので、税金が集まりにくくなっています。そうになると、安全な生活を送ることができなくなってしまいます。安全な生活を送るためには、税金が必要となってくるので、5%から8%に上がってしまうことも、しかたがないことなのかなと思いました。

潮来税務署長賞

税金の使われ方

茨城県立麻生高等学校

一年 井上 ありさ

私たちは商品を買うときに消費税を払います。そのため、商品の値段に加えて、わずかではありますがお金を払わなければなりません。わずかなお金でも合計は大きな額になります。私にとってそれは少しづつ損をすることに感じ、消費税を払わなければならないのか疑問に思いました。そこで、税金の使われ方について調べてみることにしました。

そもそも税金とは、私たちが毎日利用している道路や橋などの社会資本を整備すること、生命や財産を災害や犯罪から守ること、生活に困っている人を保護することなどを目的として国民から集める費用のことをいいます。

税金には、個人の所得に対して課される所得税、法人が得た所得に対して課される法人税や、亡くなった方の財産を相続により取得した時などに課される相続税、輸入品に対して通関時に課される関税、そして何より私たちに身近な、商品を買ったりサービスを受けたときに課される消費税などがあります。

税金の一番の使い道は社会保障です。社会保障とは、国民が安心して生活していくために必要な、医療、介護、年金、福祉などの公共サービスのことをいいます。医療面では治療費の一部、場合によっては全額を負担するのに使われます。介護面では介護サービスにかかる費用の一部が税金で賄われ

ます。また、年金の一部も税金から出ています。

社会保障以外に、公共施設などにも税金は使われます。図書館を例に考えていきたいと思えます。

図書館はとても便利な施設で、幼児から老人まで、幅広い世代の人が利用しています。一年中温度は快適にされ、本を読むだけではなく、勉強することも、インターネットを使うことも、名作映画や音楽を鑑賞することもできます。私は夏休みなどや定期テスト前に学習室を使って宿題や勉強をしたりしています。図書館にはたくさんの本があります。それらの中には寄贈されたものもありますが、だいたいが税金で購入されています。税金は本だけではなく、図書館司書の人たちの報酬をはじめ、図書館を運営するにあたって必要になるすべての管理費に使われています。

今回この作文を書いて、改めて税金の大切さを知ったと同時に税金のことについてよく考えてみるのも大切な事だと気づかされました。私はまだ未成年で消費税以外の税金は主に納める機会がありません。そのため、いままでは納税を他人事と思っていました。でも、この作文を書きながら自分たちが納めている税金の具体的な使い道が分かったことにより、納税に対しての意識が、「少しづつ損をしている」というものから「自分たちの生活をいろいろな場面で支えてくれる必要不可欠なもの」に変わりました。私が将来納税する立場になったら、しっかりと納税しようと思えます。

茨城県知事賞

税の役割

茨城県立麻生高等学校

一年 布施 知実

税といえは今年の四月に消費税が5%から8%へと上がり話題となりましたが、そんな税にはたくさん種類があり、所得税、法人税、消費税、相続税などの国税や、地方税の中の県民税、事業税、自動車税などの県税や市町村民税、固定資産税、軽自動車税などの市町村税などがあります。しかし、こんなにも多くの税は一体何に使われているのでしょうか。私は少し税について調べてみました。

税は年金、医療などの社会保障・福祉や水道、道路などの社会資本整備、教育や警察、消防、防衛といった私たちの暮らしに欠かせない公的サービスを補っていることが分かりました。そして、最近では少子・高齢化が急速に進み、社会保障給付などの増加や経済変動により国の財政がますます厳しくなる中で、今後の税のあり方が、その使い道とともに、国民一人一人にとって一層身近で重要な課題となってきました。そんな中、支え合う社会の実現に必要な財源を確保し、経済・社会の構造変化に適した新たな税制を築くことは、新しい国のかたちを作るために必要不可欠だと思います。

私は、もし税がなくなってしまうたらどうなってしまうのだろうかと考えてみました。もし税がなくなってしまうたら、公的サービスを十分に受けることができなくなってしまうので、病院に行けない人たちや学校へ通えない人たちが必ずで

できてしまうと思います。そして、道路が壊れていても直せないし、ゴミなども回収できずにそのままになってしまったり、国はめっちゃくちゃになってしまおうと思います。なので、そのようなことがおこらないように、国民みんなが互いに支え合い、共によりよい社会を作っていくという意識を持って、この費用を広く公平に分かち合うことが必要だと思います。最後に税は、公的サービスを補うのに十分な量を安定的に確保することが必要です。社会保障給付などの公的サービスと税・社会保険料の負担は両方の大きさが等しくなることが基本であり、負担を将来世代へ先送りしないようにすることが私たちの責任ではないでしょうか。

茨城県租税教育推進協議会長賞

消費税について

茨城県立麻生高等学校

一年 岡野 美希

「税」と言われて私が最初に考えたのは、消費税です。今年の四月に5パーセントから8パーセントに上がりました。この3パーセントの違いは私たちの生活に大きな影響をおよぼしました。千円のものを買えば前まで五十円だったものが、八十円になりました。このたった三十円の違いも、一ヶ月続けば約九百円になってしまいます。この違いは大きいと私は思います。しかし、各国の消費税率を見ると、日本はまだまだ低い方なんだと思いました。世界で一番消費税率が高いのは、ハンガリーが二十七パーセントだそうです。単純に考えて、ハンガリーで千円の買い物をする、消費税は二百七十円になってしまいますが、実際はそうならないのです。

世界で消費税を実施している国は百四十八カ国あるそうです。そのうち、二十パーセントを超えている国はいくつかあります。さすが、だいたいヨーロッパに集まっています。しかし、ヨーロッパの国々の中には、医療費や教育費が無料である国や、飲料水や主食などの生活必需品には消費税をかけない、とする国が多く見られます。先程紹介したハンガリーでも生活必需品にかける消費税は低くなっていたり、特定の品物、サービスでも消費税は安くなるそうです。そのため、消費税が高くて、国民からの不満は少ないようです。

では、消費税が無い国ではどうでしょうか。例を上げると

すれば、サウジアラビアなどの中東の産油国です。サウジアラビア以外にも、クウェートや、アラブ首長国連邦、バーレーンなどの湾岸協力会議（GCC）諸国では、消費税がありません。なぜなら、それらの国では、石油などの資源が豊富で、色々な国に輸出しているため、財政に余裕があり、消費税がなくても大丈夫なんだそうです。

消費税率が高い国も、ない国も、それぞれ理由があります。日本はもうすぐ十パーセントになってしまうようですが、私は、消費税率を上げるなら、今の消費税のかたちを変えるべきだと思います。消費税率が高い国では、決められたものの消費税率を低くする「軽減税率」というものがあります。日本では、買い物をする、必ず八パーセントの消費税がかかります。贅沢品にはつけてもいいと思いますが、毎日買うような食品の消費税率は低くするべきだと思います。

もう一つ上げるなら、消費税率が上がった分のお金はどのように使うのかをはっきりと発表してほしいな、と思います。八パーセントになった時でさえ不満があったので、十パーセントになるときは、国民が納得できるようにしてほしいです。